東京日日新聞
大阪毎日新聞
昭和八年十二月九日 第一種郵便物認可 昭和八年十二月九日 印刷納本 昭和八年十二月十日 発行 毎月一回十日発行 定価金拾五銭 送料共

愛と恐怖

世界大戦前夜の秘密外交官の手記

英国大使館記録！

中央公論社 大全集イプスルト

凡ゆる人間が彼の裡に自己の一部を——恐らくは自己の全部を見出すもの、トルストイの如き人があるであらうか。萬人がひそかに心を騒かしつゝも、彼のうちに己の肇を聴き、己の赤裸の姿を發見せざるを得さらしめるもの、トルストイの文學の如きが他にあるであらうか。人間の強靱、美醜、正不正、一つとしてその心に包藏されてゐないものはない。トルストイこそはその意味に於ていみじくも許された如く、眞に「萬人の鏡」である。しかも曇りなき鏡である。いかなる小さき心の波をも、それは見逃がさない。何人も、男も女も、この鏡の前に立つ時、自己の中に潜む惡の姿をまざまざと見せつけられないではゐないであらう。傑然とし、慟哭し、首を垂れ、この偉大なる眞實の前に跪つかずにはゐられないであらう。これは唯の文學ではない。これは底知れぬ人間記錄である！

文學に興味の大きい中學生に彼に影響されない人は殆ど無い。新しい青年作家たちは、先づトルストイを通ることから始める。ロマン・ローラン、アナトール・フランス、メレジコフスキイ等の文豪も口を揃へて讃美してゐる。ドストエフスキイの如きは「聖者の魂」と稱してゐる。最近發表された「トルストイ傳」によつて初めて自己に還り、武者小路實篤氏は、新しき村を創め、有島生馬氏は「叡智」を讀んで目覚しかけたと告白してゐる。ひとり文學靑年ばかりでない、今日の三十歳以上の知識人で大なり小なりトルストイの洗禮を受けない人は一人もないと云つていゝ。

と同時に、人生に對する深い信頼を吾々に與へてくれるのはトルストイの作品である。人生にとつて至高なるものは、心の喜び、平和、最も深い幸福、又愛であると云ふ確信を吾々に與へてくれるのもトルストイである。又、人類の運命に對する希望、生きて行く眞劍な氣持を吾々に與へてくれるのもトルストイである。この意味に於て彼の文學は、力の文學であり、希望の文學であり、又、生活に對する不安克服の文學である。

死して悔なし

第一回配本「復活」に全國書店に出ました
全二十二卷（菊判内部十五錢）
一冊平均六十錢（三四頁）

大正二十二年三月廿五日印刷 大正二十二年三月廿八日發行 定價金拾五錢 送料共
東京市小石川區江戸川町壹番地 發行兼印刷人 江口渙
東京市小石川區江戸川町壹番地 印刷所 東京印刷株式會社
東京市小石川區江戸川町壹番地 發行所 中央公論社
電話小石川（五八〇）六六六番 振替口座東京一九九九番

胃腸病は デルビー で なほる

大發見せり

デルビー定價
（十五包入 金二圓 四十五包入 金五圓 四圓）

能率主治効力效能

ビルデ

研究見のマルビーは、如何に胃腸病の慢性胃腸の弱い人、大便に消化不良の物を混じ下腹に痛りしくく痛み、一日に四五回も通じ或は數十回の下痢に苦しむ人、胃の下垂、胃擴張、胃アトニー、胃酸過多症、胃潰瘍、胃癌、胃痙攣、胃酸缺乏症、胃神經症、胃出血、胃痛

不即不離の支那の眞意

世界大動亂を夢見て列國に依存、日本に當る

川越新駐支大使を中心に日支關係打開策を再檢討

【南京三十一日發同盟】支那側の對日態度が對英關係の好轉に伴ひ漸次硬化の傾向を示してゐることは既報の通りであるが、これに關聯して支那側の對日感情惡化の一例として、最近南京に於ける日本人學校の生徒が支那人から侮辱を受けた事件が擧げられてゐる、即ち南京日本人學校の生徒が校外教授として南京城外の中山陵を參觀した際、支那人から「日本鬼子」と罵られ、或は石を投げられたりしたもので、これが爲め同校では校外教授を中止するの已むなきに至つた

【アデス・アベバ三十日發通信】イタリー政府はニチオピアからの銀、その他の貴金屬の輸出を禁止する旨二十日發表した

伊政府が禁止

柳川軍司令官 碓溪へ

【天津三十日發同盟】天津市長蕭振瀛氏は三十日國民政府に對し辭表を提出したが同氏は天津市長就任以來北支の明朗化を期し終始努力したが最近南京政府要人の更迭、國民政府との微妙な內部關係に依り所期の如くならず辭職を決意するに至つたものと觀られ、又天津公安局長張樹聲氏も辭任と共に辭職する模樣で之に伴ひ警察當局內部も動搖の色濃厚である

蕭天津市長突如辭表提出

北支明朗化不如意で部に相當惡化の翼あると觀測さる

後任は陳中擧氏か

【天津三十一日發同盟】天津市長蕭振瀛氏の辭任に伴ひ後任としては現教育局長陳中擧氏の呼聲が高い

【東京三十一日發同盟】陸軍では本年度豫算編成の際、軍備の充實を期し、殊に航空兵力の擴充に重點を置き、これが爲め陸軍豫算は相當の增額を見るものと觀られてゐるが、これに關聯して陸軍では左の如き要綱を以て豫算の編成に當る方針を決定した

一、航空兵力の擴充
一、近代裝備の充實及びこれに伴ふ人馬の增加
一、一般作戰資材の整備
一、關東軍の充實に伴ふ內地兵備の補塡

と傳へられるが、航空の充實に關しては所要人員（三十名）を高等官六名、判任官二十四名と決定した

【東京三十一日發同盟】陸軍では早くも明年度豫算の編成に着手したが明年度豫算は支那問題の三大使命の一たる國防の充實に七億六ヶ年計畫の初年度豫算が殆んど全部これに充てられるものと觀られてゐる

陸軍の明年度豫算編成方針

豫算をなさなければ內地兵備の充實を期し難い

一、明年度豫算編成方針
豫算總額（兵備改善費を含む）は約二億三千六百萬圓

明年度海軍要求額 七億圓を突破か

國防第一主義で進む

【東京三十一日發同盟】海軍では英米との關係を緊張し軍備增強する國防費を如何にして賄つて行くかの點に關しても重大なる關心を持ち財務當局の擔當官と屢々打合會を開いてゐるが、明年度豫算は新規事業費の增加、軍備擴張費の增加、軍艦建造費の增加等に依り相當の增額を見るものと觀られ、從つて明年度に於ける豫算編成の方針に基き新規擴張計畫の所要經費が大きく現れる點でもあり海軍としての要求額は相當大なものとなり從つて明年度豫算編成の際は相當の困難が豫想されてゐる

【東京三十一日發同盟】海軍では英米二大海軍國の軍備擴張計畫に對抗し西太平洋上における帝國國防の安固を期し且つ皇軍の皇海上兵力を保有する爲明年度より新軍備擴充計畫に着手することとなつたが同時に昨年度より繼續實施中の第四次補充計畫（一部を繰延べ）をも併せ實施し、明年度豫算に於ては相當の增額を要求する模樣である

國府の口頭的親日論 徹底的に清算せよ

陸軍、支那側の反省を熱望し 外相の對支聲明に期待

【東京三十一日發同盟】陸軍では廣田外相が對支政策の樹立に當つてこの際特に支那側に反省を促すかについては慎重なる考慮を拂つてゐるところであるが、從來特別關係にある支那側に對しては外交當局が對日感情の緩和に從つて漸次我方の主張を根本的に認識せしめる樣に努力して來たのであるから、この際特に支那側の反省を促すが如きことは却つて日支國交の根本的調整に逆行するものであるとの見地から、この際は寧ろ從來の方針を持續して行くことが適當であるとの意見が有力であるが、尙ほ廣田外相から六月一日閣議の際この點に關し各大臣の意見を徵したる上、最終的決定を爲すことになつてゐる

依然米國政府は 英國の出方を觀望

【ワシントン三十日發聯合】北平方面における事態の再發展はワシントン官民の注目を惹いてゐるが、當局の公式意見は開陳されないが最近の政府側の態度より推せばアメリカが此の際積極的に外交上の干渉を行ふ樣なことは考へられてゐないものゝ如くである、即ちアメリカ人の生命財産に危害を生じない限り問題を擴大することよりも遠大な利益を有するイギリスの出方を睨め樣としてゐる模樣である、而してワシントンの消息通筋ではイギリスが北支に重大關心を持つてゐることと日本が國際的に孤立することを恐れてゐることから日本に對し相當の讓歩を爲すの態度に出づるものと觀測してゐる

閣東軍の充實に 先づ主力を注ぐ

陸軍の明年度豫算編成方針

【東京三十一日發同盟】陸軍では明年度豫算編成に當つては閣東軍の充實に主力を注ぐ方針であるが、これは從來の如く閣東軍の充實は支那本部の情勢と睨み合せて漸次これを行ふ方針であつたのに對し、明年度豫算編成に當つては閣東軍の充實に主力を注ぐ方針を採つたもので、これは支那本部の情勢が當分現狀を持續するものと觀測されるに至つたからである

外交機構の充實強化 今夏頃より實現

通商關係の充實を主眼とし 新たに南洋課も設く

【東京三十一日發同盟】外務省では最近の國際情勢に伴ひ外交機構の擴充補強を圖るべく追加豫算として二百七十九萬餘圓を計上し過般の特別議會の協賛を得たのであるが、この豫算が議會の協賛を見ることとなつたので、これが實現を見ることとなつたが、今回の機構擴充には通商關係の充實を眼目とする左の如きものである

一、通商局の擴充
一課增設（現在の第一課を第一、第二課に分ち、第二課は通商關係を擔當）
一、事務官五名、書記七名を增員
一、經理及び電信基の改善
一、在外公館の擴充
シンガポール領事館、ボンベイ、ラングーン、各領事館の新設（十一月實現）
一、南洋課の新設
歐亞局第二課として南洋關係の政務を擔當する南洋課を新設、書記官一名、事務官二名、書記四名を增員し南洋政務を行擧せしめる（八月より實現）

米國各市場休場

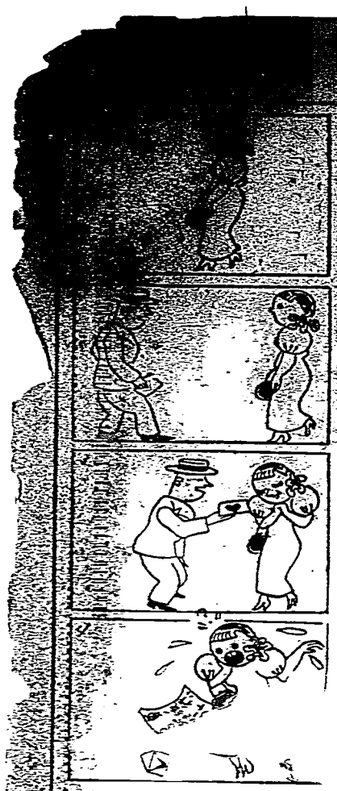
【ニューヨーク三十一日發聯合】三十日は南北戰爭の記念日でアメリカ各市場は休場した

廣谷內務部長 三日に渡滿

【新京電話】關東局內務部長は二十一日發行にて出席、內務部長會議に出席した後滿洲國內務局と會同の上、各地の實情を視察の上、六月中旬歸任の豫定

五日より一週間 海軍參謀長會議

【東京三十一日發同盟】本年度海軍參謀長會議は六月五日より十二日まで一週間に亘り開催、伏見宮軍令部總長、高橋三吉海相、長谷川次官以下各局長參列、永野海軍省軍務局長、野村第一、第二艦隊司令長官、村田三艦隊、佐藤第一航空艦隊司令長官、清水世保鎭守府、井上橫須賀鎭守府、第一、第二兩根據地隊各參謀長出席、第一日の開會式後伏見宮總長より重要訓示があつて、懇談會に入る事となつた、而して議題としては英國が最近四箇所に增加の申出をなした海軍豫算の增額問題、海軍航空兵力の擴充問題、艦隊訓練の改善問題、艦隊の新編成問題、海軍軍備の充實



早合點　鈴木比奈夫

「ほほほ……あの！英語が六ヶ年の間はいいからの問題を持つて海水浴をなさいとおっしゃいましたわ」

ああなんと紳士的なフンデーヴーである事よ「君はそちらで僕はこちらと」「ええ喜んに歩らさまぜうね」

(四)　一　功　川　晉

侯てに蟲害は牛蝿用食もに何如

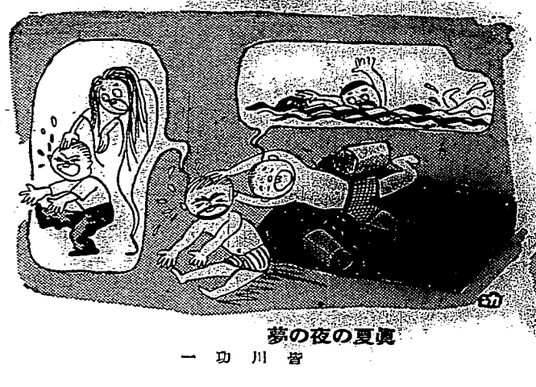
「よすでうさだんくつか力精とるべ噌をれこたんあ」
「よい悪が合具の腹でし倒食。うもやしわフへウ」

日盟のその止禁

すえさきおてじう新ず、あ取。那旦」ヤキンペ
うせでんせまき付が當見寸一かとつけ質題に何やり

都市美

「どうだい立看板が整理されてゐたんだ……あの看板はどうも拙いなア」「アンレ失礼な奴だわ」



夢の夜の夏演

一　功　川　晉

ぬり來は夏

「！れ止！め進」

食用蝸牛等の輸移入を禁止

所謂流行的副業に對し農林省が警告

【東京特電二十一日發】農林省では、最近農村の副業として所謂有望副業に名を藉り、投機的つかない新規副業を奇貨とみのない流行的副業を奨勵して、農村を不安に陷入れ、農家を貧るものが續出してゐる事實に鑑み、これが取締に大體となり、先きにはマヨランの飼養禁止を斷行し、我が農民の去就に明かにするところあつたが、いま又、熱帶産食用蝸牛、デリス根栽培、九龍蟲の取締に乘り出し食用蝸牛及び九龍蟲の輸移入禁止、デリス根栽培家への繁殖を防止すべく

【東京二十一日發本社特電】第三次公債低利借換發表に對し財界方面では大體安の知き悲觀を下してゐるが、即ち今回の借替方針を見るに

舊債

所有者に對しては九十七圓五十錢となしこの間五十錢のプレミアムを附することになつたので借換が餘りに苛酷さを感じないことになるので、舊債所有者は殆んどこれが打撃を感じ、又殊更有利な借換方法なりと喜んでゐる

低金利政策

に邁進し、その成功に滿腹の自信を持つてゐる而して馬場藏相の見るところでは金融緩和のために從ふ一億何位の乘替債が生ずる位になつた方がいいと云ふ程の强氣を有してゐるのであつて今日の如く低金利の消化が良好である限り日銀の公債買止めを解除するのは未だ當分先のことだとなしてゐる、それにも拘らず今回乘替に特例を設けて

舊券保有者

に對して條件を緩和したのは低金利政策の强行に依る金融機關の打撃を緩和して低金利の圓滑なる實現化を期するに出でたものと云はれてゐるが併しこのために既發行分の利回相場に異變を與へる影響も輕微ならざるものあり三分半利回に依る一應の整理時代に入らんとするために一時的の混亂も免れまいと觀測されてゐる

苦心

を拂つた一端が窺はれる、又利廻りに於ても乘替條件は現在利三分七厘七毛と前回に比し大體四毛二錢方の反騰を示してゐるがこれによつて直ちに金利の變動を豫想するは早計であつて政府の狙ひは飽迄も借換の圓滿なる實行を期し、民間の借換實行を待つて次に次に低下せしむるに至ると農村物の被害は大なるものがあること、既に國債保有者及び第一種銀行等取締法第一條に該當する以上は從來人壽保險會社が低金利の理由で解約するものが續出し、又は三年以上の國債が沒收されてゐる事情と同樣に、有利な新規デリス根の栽培も有利な新規デリス根栽培として有望であるが、これ等は小資本を除く外は一般の農村には不適當であり、又デリス根の栽培地は全く熱帶地方に於ける栽培地に比べて品質上に於ても劣つてゐるから

昭和七一年六月一日　二日日新聞　第一五二九百九十五號　(第三種郵便物認可)

南海の虹

(9)

北村小松作
小林秀恒畫

南丸(毛)

「又氏の言初の御用は…無くなつたが…」と云つて…御用で倉庫の火災事について…何か不正でもありそうなロぶりで御安を言々…現行中だと云ふ…御用なものだつたが、それが一月ほどたつと…以上にたべて…何の用もない御だと云ふ…御民が来ると切り…又氏自身…に…でも来たければ…したいと…どこへ行つてしまつたか…分らないと云ふのだ。…それで今度は第二の人物が…派遣された所が、この一番目の又氏と云ふ…非常十万つたさうだが、この人は出かけたら切り…民なんかけりアたより…

…事は出来ない…要なんだよ！…」

「ここで今度は…奴さんと云ふ…なのですか？」

…時村はむしろ…要を…かやなかいお仲間でも聞いてゐる様にかうつた。

「いやさうぢやない。ただ…と云ふ…かゐる…こいつは…探偵だ。所が、この先生が…探偵してゐる…間の…事地で十人のそこ…民…山刀でやられてゐるんだ。…(殺)…の人の外に十…だつてメダンの…奥地や…年…相当の数の日本人がモ…民の山刀でやられてゐるんだからね…交渉のつけようがないんだ。フイ…リッピンの…探偵なんてものは、日本に比べるとまるでお話にならない様なチャチなものなんだからなア……それにマニラには…強力な支那人の…探偵の大親分が三人ゐる。この連中を使つたら大抵の事はヤマヤマで…釈ひになつて…まつのだからな」

「そんなら、代理店に入れてしまへばいいわけぢやないですか？」

「早い話が…ま、さう云ふ事にもなる。所が…今度は、…の…その店主が行方不明だ。つまり夜逃…さうたつの…事の父親だと！」

「へえ……」

時村は…驚いた様に目を見はつた。

「すると…云ふと店首員も…誰かにやられやつたのですか？」

「そこなんだよ。…が…網にしさやならないのは、やられしまつた…支那人…の…民…部の方へ行つて…探に…暮してゐるか、それとも日本へ…こうそりと…つて来てゐるか？…」

「そんな事があるか知ら……」

…時村が…は…目をとがらせたんに…仮は明りとの小…がぶしかか…照いてゐて、そこから人間の眼が二つ、此…部屋をうつとのぞき込んでゐるのを…取して…はすべへと呼吸を止めた。次の瞬間に…消えのぞいてゐたこの二つの眼は、サット暗の中に消えてしまつた。

「殺さん！…誰かのぞいてゐる！…民…聞きしてゐるクープ…ブクやかに！」

「だつ？」

…谷…は…探…と…然として…に立ち上つた。

「行つて見ろ！……誰だ！」

云ふより早く…探長は…をあけて…外へ飛び出して行つた。

…の後時計も…鳥の様に、その後からつづいた。

午前の部

(九・〇〇)…朝の挨拶…ラヂオ…操(九・三〇)…国民歌謡(東京)…東北…間(十一・〇〇)…謡曲(東京)…(十一・三〇)…国民歌謡(東京)…(十二・〇〇)…報メモ(東京)

午後の部

(一・一五)…正の…報…音楽…報…(東京)…(二・〇〇)…放送…間…(二・一五)…ドン…映…楽…お…時…(三・一〇)…(四・〇〇)…(四・一五)…(四・三〇)…(五・〇〇)…(五・一〇)…(五・三〇)…(六・〇〇)…(六・一〇)…(六・三〇)…(七・〇〇)…(七・一〇)…(七・三〇)…(八・〇〇)…(八・一〇)…(八・三〇)…(九・〇〇)…(九・一〇)…(九・三〇)…(十・〇〇)…(十・一〇)…(十・三〇)…(十一・〇〇)…(十一・一〇)…(十一・三〇)…(十二・〇〇)…(十二・一〇)…(十二・三〇)…

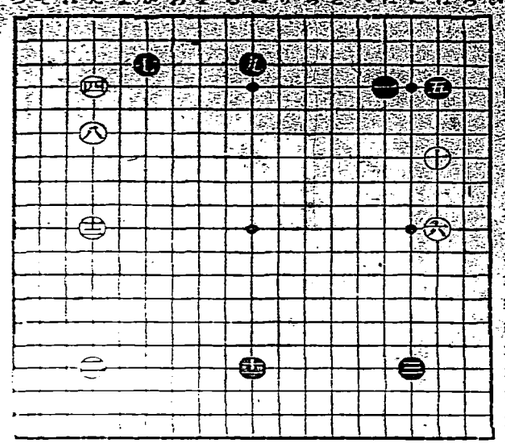
夜間の部

(六・〇〇)…十秒の時間(東北)…少年…(六・一〇)…江戸川乱歩の…探偵…(六・二〇)…講演(大阪)…中…間…の現代と…探偵…(六・三〇)…探偵…(七・〇〇)…奏会(大阪)…放送…(七・一〇)…放送(東京)…(七・三〇)…ラヂオ…(東京)…(八・〇〇)…(八・一〇)…(八・三〇)…(九・〇〇)…(九・一〇)…(九・三〇)…(十・〇〇)…(十・一〇)…(十・三〇)…(十一・〇〇)…(十一・一〇)…(十一・三〇)…(十二・〇〇)…(十二・一〇)…(十二・三〇)…

日本棋院 春季大手合戰譜

(第二局の一)

四段 宮下秀洋
先相先 先番三段 苅部榮三郎



一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六

一 ほの四 六
二 たの十六 十六
三 ぬの三 六
四 ぬの九 三
五 ぬの十 七
六 はの十 四
七 かの三 十六
八 ぬの六 十一
九 たの四 四
十 たの四 五
十一 はの四 十六
十二 ぬの十六 十一

先番黒番勝ち
白○時二十三
黒●時二十二

對局者のことば

(白六七)の三連星も勝くましたが、(白六七)の黒二〇の強襲が三連星上に有力なので…(黒七)でた左辺に開拓するものでした。(黒一一)に…するものもありますが、勿論…をはいくないやうに…の黒を…(白一二)と…

評解 五段 長谷川章

黒七、九の作戦は、右辺隅のジマリに(白二)に五の方向でたいだけにまづくない。即ち黒は左辺の開拓を第一義とする。その一例を示せば、黒九白九、黒一、白一〇、黒一一、白一二、黒一三、白一四、黒一五、白一六、黒一七、白一八、黒一九、白二〇、黒二一、白二二、黒二三、白二四、黒二五、白二六、黒二七、白二八、黒二九、白三〇、黒三一、白三二、黒三三、白三四、黒三五、白三六、黒三七、白三八、黒三九、白四〇、黒四一、白四二、黒四三、白四四、黒四五、白四六、黒四七、白四八、黒四九、白五〇、黒五一、白五二、黒五三、白五四、黒五五、白五六、黒五七、白五八、黒五九、白六〇、黒六一、白六二、黒六三、白六四、黒六五、白六六、黒六七、白六八、黒六九、白七〇、黒七一、白七二、黒七三、白七四、黒七五、白七六、黒七七、白七八、黒七九、白八〇、黒八一、白八二、黒八三、白八四、黒八五、白八六、黒八七、白八八、黒八九、白九〇、黒九一、白九二、黒九三、白九四、黒九五、白九六、黒九七、白九八、黒九九、白一〇〇、黒一〇一、白一〇二、黒一〇三、白一〇四、黒一〇五、白一〇六、黒一〇七、白一〇八、黒一〇九、白一一〇、黒一一一、白一一二、黒一一三、白一一四、黒一一五、白一一六、黒一一七、白一一八、黒一一九、白一二〇、黒一二一、白一二二、黒一二三、白一二四、黒一二五、白一二六、黒一二七、白一二八、黒一二九、白一三〇、黒一三一、白一三二、黒一三三、白一三四、黒一三五、白一三六、黒一三七、白一三八、黒一三九、白一四〇、黒一四一、白一四二、黒一四三、白一四四、黒一四五、白一四六、黒一四七、白一四八、黒一四九、白一五〇、黒一五一、白一五二、黒一五三、白一五四、黒一五五、白一五六、黒一五七、白一五八、黒一五九、白一六〇、黒一六一、白一六二、黒一六三、白一六四、黒一六五、白一六六、黒一六七、白一六八、黒一六九、白一七〇、黒一七一、白一七二、黒一七三、白一七四、黒一七五、白一七六、黒一七七、白一七八、黒一七九、白一八〇、黒一八一、白一八二、黒一八三、白一八四、黒一八五、白一八六、黒一八七、白一八八、黒一八九、白一九〇、黒一九一、白一九二、黒一九三、白一九四、黒一九五、白一九六、黒一九七、白一九八、黒一九九、白二〇〇、黒二〇一、白二〇二、黒二〇三、白二〇四、黒二〇五、白二〇六、黒二〇七、白二〇八、黒二〇九、白二一〇、黒二一一、白二一二、黒二一三、白二一四、黒二一五、白二一六、黒二一七、白二一八、黒二一九、白二二〇、黒二二一、白二二二、黒二二三、白二二四、黒二二五、白二二六、黒二二七、白二二八、黒二二九、白二三〇、黒二三一、白二三二、黒二三三、白二三四、黒二三五、白二三六、黒二三七、白二三八、黒二三九、白二四〇、黒二四一、白二四二、黒二四三、白二四四、黒二四五、白二四六、黒二四七、白二四八、黒二四九、白二五〇、黒二五一、白二五二、黒二五三、白二五四、黒二五五、白二五六、黒二五七、白二五八、黒二五九、白二六〇、黒二六一、白二六二、黒二六三、白二六四、黒二六五、白二六六、黒二六七、白二六八、黒二六九、白二七〇、黒二七一、白二七二、黒二七三、白二七四、黒二七五、白二七六、黒二七七、白二七八、黒二七九、白二八〇、黒二八一、白二八二、黒二八三、白二八四、黒二八五、白二八六、黒二八七、白二八八、黒二八九、白二九〇、黒二九一、白二九二、黒二九三、白二九四、黒二九五、白二九六、黒二九七、白二九八、黒二九九、白三〇〇、黒三〇一、白三〇二、黒三〇三、白三〇四、黒三〇五、白三〇六、黒三〇七、白三〇八、黒三〇九、白三一〇、黒三一一、白三一二、黒三一三、白三一四、黒三一五、白三一六、黒三一七、白三一八、黒三一九、白三二〇、黒三二一、白三二二、黒三二三、白三二四、黒三二五、白三二六、黒三二七、白三二八、黒三二九、白三三〇、黒三三一、白三三二、黒三三三、白三三四、黒三三五、白三三六、黒三三七、白三三八、黒三三九、白三四〇、黒三四一、白三四二、黒三四三、白三四四、黒三四五、白三四六、黒三四七、白三四八、黒三四九、白三五〇、黒三五一、白三五二、黒三五三、白三五四、黒三五五、白三五六、黒三五七、白三五八、黒三五九、白三六〇、黒三六一、白三六二、黒三六三、白三六四、黒三六五、白三六六、黒三六七、白三六八、黒三六九、白三七〇、黒三七一、白三七二、黒三七三、白三七四、黒三七五、白三七六、黒三七七、白三七八、黒三七九、白三八〇、黒三八一、白三八二、黒三八三、白三八四、黒三八五、白三八六、黒三八七、白三八八、黒三八九、白三九〇、黒三九一、白三九二、黒三九三、白三九四、黒三九五、白三九六、黒三九七、白三九八、黒三九九、白四〇〇、黒四〇一、白四〇二、黒四〇三、白四〇四、黒四〇五、白四〇六、黒四〇七、白四〇八、黒四〇九、白四一〇、黒四一一、白四一二、黒四一三、白四一四、黒四一五、白四一六、黒四一七、白四一八、黒四一九、白四二〇、黒四二一、白四二二、黒四二三、白四二四、黒四二五、白四二六、黒四二七、白四二八、黒四二九、白四三〇、黒四三一、白四三二、黒四三三、白四三四、黒四三五、白四三六、黒四三七、白四三八、黒四三九、白四四〇、黒四四一、白四四二、黒四四三、白四四四、黒四四五、白四四六、黒四四七、白四四八、黒四四九、白四五〇、黒四五一、白四五二、黒四五三、白四五四、黒四五五、白四五六、黒四五七、白四五八、黒四五九、白四六〇、黒四六一、白四六二、黒四六三、白四六四、黒四六五、白四六六、黒四六七、白四六八、黒四六九、白四七〇、黒四七一、白四七二、黒四七三、白四七四、黒四七五、白四七六、黒四七七、白四七八、黒四七九、白四八〇、黒四八一、白四八二、黒四八三、白四八四、黒四八五、白四八六、黒四八七、白四八八、黒四八九、白四九〇、黒四九一、白四九二、黒四九三、白四九四、黒四九五、白四九六、黒四九七、白四九八、黒四九九、白五〇〇、黒五〇一、白五〇二、黒五〇三、白五〇四、黒五〇五、白五〇六、黒五〇七、白五〇八、黒五〇九、白五一〇、黒五一一、白五一二、黒五一三、白五一四、黒五一五、白五一六、黒五一七、白五一八、黒五一九、白五二〇、黒五二一、白五二二、黒五二三、白五二四、黒五二五、白五二六、黒五二七、白五二八、黒五二九、白五三〇、黒五三一、白五三二、黒五三三、白五三四、黒五三五、白五三六、黒五三七、白五三八、黒五三九、白五四〇、黒五四一、白五四二、黒五四三、白五四四、黒五四五、白五四六、黒五四七、白五四八、黒五四九、白五五〇、黒五五一、白五五二、黒五五三、白五五四、黒五五五、白五五六、黒五五七、白五五八、黒五五九、白五六〇、黒五六一、白五六二、黒五六三、白五六四、黒五六五、白五六六、黒五六七、白五六八、黒五六九、白五七〇、黒五七一、白五七二、黒五七三、白五七四、黒五七五、白五七六、黒五七七、白五七八、黒五七九、白五八〇、黒五八一、白五八二、黒五八三、白五八四、黒五八五、白五八六、黒五八七、白五八八、黒五八九、白五九〇、黒五九一、白五九二、黒五九三、白五九四、黒五九五、白五九六、黒五九七、白五九八、黒五九九、白六〇〇、黒六〇一、白六〇二、黒六〇三、白六〇四、黒六〇五、白六〇六、黒六〇七、白六〇八、黒六〇九、白六一〇、黒六一一、白六一二、黒六一三、白六一四、黒六一五、白六一六、黒六一七、白六一八、黒六一九、白六二〇、黒六二一、白六二二、黒六二三、白六二四、黒六二五、白六二六、黒六二七、白六二八、黒六二九、白六三〇、黒六三一、白六三二、黒六三三、白六三四、黒六三五、白六三六、黒六三七、白六三八、黒六三九、白六四〇、黒六四一、白六四二、黒六四三、白六四四、黒六四五、白六四六、黒六四七、白六四八、黒六四九、白六五〇、黒六五一、白六五二、黒六五三、白六五四、黒六五五、白六五六、黒六五七、白六五八、黒六五九、白六六〇、黒六六一、白六六二、黒六六三、白六六四、黒六六五、白六六六、黒六六七、白六六八、黒六六九、白六七〇、黒六七一、白六七二、黒六七三、白六七四、黒六七五、白六七六、黒六七七、白六七八、黒六七九、白六八〇、黒六八一、白六八二、黒六八三、白六八四、黒六八五、白六八六、黒六八七、白六八八、黒六八九、白六九〇、黒六九一、白六九二、黒六九三、白六九四、黒六九五、白六九六、黒六九七、白六九八、黒六九九、白七〇〇、黒七〇一、白七〇二、黒七〇三、白七〇四、黒七〇五、白七〇六、黒七〇七、白七〇八、黒七〇九、白七一〇、黒七一一、白七一二、黒七一三、白七一四、黒七一五、白七一六、黒七一七、白七一八、黒七一九、白七二〇、黒七二一、白七二二、黒七二三、白七二四、黒七二五、白七二六、黒七二七、白七二八、黒七二九、白七三〇、黒七三一、白七三二、黒七三三、白七三四、黒七三五、白七三六、黒七三七、白七三八、黒七三九、白七四〇、黒七四一、白七四二、黒七四三、白七四四、黒七四五、白七四六、黒七四七、白七四八、黒七四九、白七五〇、黒七五一、白七五二、黒七五三、白七五四、黒七五五、白七五六、黒七五七、白七五八、黒七五九、白七六〇、黒七六一、白七六二、黒七六三、白七六四、黒七六五、白七六六、黒七六七、白七六八、黒七六九、白七七〇、黒七七一、白七七二、黒七七三、白七七四、黒七七五、白七七六、黒七七七、白七七八、黒七七九、白七八〇、黒七八一、白七八二、黒七八三、白七八四、黒七八五、白七八六、黒七八七、白七八八、黒七八九、白七九〇、黒七九一、白七九二、黒七九三、白七九四、黒七九五、白七九六、黒七九七、白七九八、黒七九九、白八〇〇、黒八〇一、白八〇二、黒八〇三、白八〇四、黒八〇五、白八〇六、黒八〇七、白八〇八、黒八〇九、白八一〇、黒八一一、白八一二、黒八一三、白八一四、黒八一五、白八一六、黒八一七、白八一八、黒八一九、白八二〇、黒八二一、白八二二、黒八二三、白八二四、黒八二五、白八二六、黒八二七、白八二八、黒八二九、白八三〇、黒八三一、白八三二、黒八三三、白八三四、黒八三五、白八三六、黒八三七、白八三八、黒八三九、白八四〇、黒八四一、白八四二、黒八四三、白八四四、黒八四五、白八四六、黒八四七、白八四八、黒八四九、白八五〇、黒八五一、白八五二、黒八五三、白八五四、黒八五五、白八五六、黒八五七、白八五八、黒八五九、白八六〇、黒八六一、白八六二、黒八六三、白八六四、黒八六五、白八六六、黒八六七、白八六八、黒八六九、白八七〇、黒八七一、白八七二、黒八七三、白八七四、黒八七五、白八七六、黒八七七、白八七八、黒八七九、白八八〇、黒八八一、白八八二、黒八八三、白八八四、黒八八五、白八八六、黒八八七、白八八八、黒八八九、白八九〇、黒八九一、白八九二、黒八九三、白八九四、黒八九五、白八九六、黒八九七、白八九八、黒八九九、白九〇〇、黒九〇一、白九〇二、黒九〇三、白九〇四、黒九〇五、白九〇六、黒九〇七、白九〇八、黒九〇九、白九一〇、黒九一一、白九一二、黒九一三、白九一四、黒九一五、白九一六、黒九一七、白九一八、黒九一九、白九二〇、黒九二一、白九二二、黒九二三、白九二四、黒九二五、白九二六、黒九二七、白九二八、黒九二九、白九三〇、黒九三一、白九三二、黒九三三、白九三四、黒九三五、白九三六、黒九三七、白九三八、黒九三九、白九四〇、黒九四一、白九四二、黒九四三、白九四四、黒九四五、白九四六、黒九四七、白九四八、黒九四九、白九五〇、黒九五一、白九五二、黒九五三、白九五四、黒九五五、白九五六、黒九五七、白九五八、黒九五九、白九六〇、黒九六一、白九六二、黒九六三、白九六四、黒九六五、白九六六、黒九六七、白九六八、黒九六九、白九七〇、黒九七一、白九七二、黒九七三、白九七四、黒九七五、白九七六、黒九七七、白九七八、黒九七九、白九八〇、黒九八一、白九八二、黒九八三、白九八四、黒九八五、白九八六、黒九八七、白九八八、黒九八九、白九九〇、黒九九一、白九九二、黒九九三、白九九四、黒九九五、白九九六、黒九九七、白九九八、黒九九九、白一〇〇〇、黒一〇〇一、白一〇〇二、黒一〇〇三、白一〇〇四、黒一〇〇五、白一〇〇六、黒一〇〇七、白一〇〇八、黒一〇〇九、白一〇一〇、黒一〇一一、白一〇一二、黒一〇一三、白一〇一四、黒一〇一五、白一〇一六、黒一〇一七、白一〇一八、黒一〇一九、白一〇二〇、黒一〇二一、白一〇二二、黒一〇二三、白一〇二四、黒一〇二五、白一〇二六、黒一〇二七、白一〇二八、黒一〇二九、白一〇三〇、黒一〇三一、白一〇三二、黒一〇三三、白一〇三四、黒一〇三五、白一〇三六、黒一〇三七、白一〇三八、黒一〇三九、白一〇四〇、黒一〇四一、白一〇四二、黒一〇四三、白一〇四四、黒一〇四五、白一〇四六、黒一〇四七、白一〇四八、黒一〇四九、白一〇五〇、黒一〇五一、白一〇五二、黒一〇五三、白一〇五四、黒一〇五五、白一〇五六、黒一〇五七、白一〇五八、黒一〇五九、白一〇六〇、黒一〇六一、白一〇六二、黒一〇六三、白一〇六四、黒一〇六五、白一〇六六、黒一〇六七、白一〇六八、黒一〇六九、白一〇七〇、黒一〇七一、白一〇七二、黒一〇七三、白一〇七四、黒一〇七五、白一〇七六、黒一〇七七、白一〇七八、黒一〇七九、白一〇八〇、黒一〇八一、白一〇八二、黒一〇八三、白一〇八四、黒一〇八五、白一〇八六、黒一〇八七、白一〇八八、黒一〇八九、白一〇九〇、黒一〇九一、白一〇九二、黒一〇九三、白一〇九四、黒一〇九五、白一〇九六、黒一〇九七、白一〇九八、黒一〇九九、白一一〇〇、黒一一〇一、白一一〇二、黒一一〇三、白一一〇四、黒一一〇五、白一一〇六、黒一一〇七、白一一〇八、黒一一〇九、白一一一〇、黒一一一一、白一一一二、黒一一一三、白一一一四、黒一一一五、白一一一六、黒一一一七、白一一一八、黒一一一九、白一一二〇、黒一一二一、白一一二二、黒一一二三、白一一二四、黒一一二五、白一一二六、黒一一二七、白一一二八、黒一一二九、白一一三〇、黒一一三一、白一一三二、黒一一三三、白一一三四、黒一一三五、白一一三六、黒一一三七、白一一三八、黒一一三九、白一一四〇、黒一一四一、白一一四二、黒一一四三、白一一四四、黒一一四五、白一一四六、黒一一四七、白一一四八、黒一一四九、白一一五〇、黒一一五一、白一一五二、黒一一五三、白一一五四、黒一一五五、白一一五六、黒一一五七、白一一五八、黒一一五九、白一一六〇、黒一一六一、白一一六二、黒一一六三、白一一六四、黒一一六五、白一一六六、黒一一六七、白一一六八、黒一一六九、白一一七〇、黒一一七一、白一一七二、黒一一七三、白一一七四、黒一一七五、白一一七六、黒一一七七、白一一七八、黒一一七九、白一一八〇、黒一一八一、白一一八二、黒一一八三、白一一八四、黒一一八五、白一一八六、黒一一八七、白一一八八、黒一一八九、白一一九〇、黒一一九一、白一一九二、黒一一九三、白一一九四、黒一一九五、白一一九六、黒一一九七、白一一九八、黒一一九九、白一二〇〇、黒一二〇一、白一二〇二、黒一二〇三、白一二〇四、黒一二〇五、白一二〇六、黒一二〇七、白一二〇八、黒一二〇九、白一二一〇、黒一二一一、白一二一二、黒一二一三、白一二一四、黒一二一五、白一二一六、黒一二一七、白一二一八、黒一二一九、白一二二〇、黒一二二一、白一二二二、黒一二二三、白一二二四、黒一二二五、白一二二六、黒一二二七、白一二二八、黒一二二九、白一二三〇、黒一二三一、白一二三二、黒一二三三、白一二三四、黒一二三五、白一二三六、黒一二三七、白一二三八、黒一二三九、白一二四〇、黒一二四一、白一二四二、黒一二四三、白一二四四、黒一二四五、白一二四六、黒一二四七、白一二四八、黒一二四九、白一二五〇、黒一二五一、白一二五二、黒一二五三、白一二五四、黒一二五五、白一二五六、黒一二五七、白一二五八、黒一二五九、白一二六〇、黒一二六一、白一二六二、黒一二六三、白一二六四、黒一二六五、白一二六六、黒一二六七、白一二六八、黒一二六九、白一二七〇、黒一二七一、白一二七二、黒一二七三、白一二七四、黒一二七五、白一二七六、黒一二七七、白一二七八、黒一二七九、白一二八〇、黒一二八一、白一二八二、黒一二八三、白一二八四、黒一二八五、白一二八六、黒一二八七、白一二八八、黒一二八九、白一二九〇、黒一二九一、白一二九二、黒一二九三、白一二九四、黒一二九五、白一二九六、黒一二九七、白一二九八、黒一二九九、白一三〇〇、黒一三〇一、白一三〇二、黒一三〇三、白一三〇四、黒一三〇五、白一三〇六、黒一三〇七、白一三〇八、黒一三〇九、白一三一〇、黒一三一一、白一三一二、黒一三一三、白一三一四、黒一三一五、白一三一六、黒一三一七、白一三一八、黒一三一九、白一三二〇、黒一三二一、白一三二二、黒一三二三、白一三二四、黒一三二五、白一三二六、黒一三二七、白一三二八、黒一三二九、白一三三〇、黒一三三一、白一三三二、黒一三三三、白一三三四、黒一三三五、白一三三六、黒一三三七、白一三三八、黒一三三九、白一三四〇、黒一三四一、白一三四二、黒一三四三、白一三四四、黒一三四五、白一三四六、黒一三四七、白一三四八、黒一三四九、白一三五〇、黒一三五一、白一三五二、黒一三五三、白一三五四、黒一三五五、白一三五六、黒一三五七、白一三五八、黒一三五九、白一三六〇、黒一三六一、白一三六二、黒一三六三、白一三六四、黒一三六五、白一三六六、黒一三六七、白一三六八、黒一三六九、白一三七〇、黒一三七一、白一三七二、黒一三七三、白一三七四、黒一三七五、白一三七六、黒一三七七、白一三七八、黒一三七九、白一三八〇、黒一三八一、白一三八二、黒一三八三、白一三八四、黒一三八五、白一三八六、黒一三八七、白一三八八、黒一三八九、白一三九〇、黒一三九一、白一三九二、黒一三九三、白一三九四、黒一三九五、白一三九六、黒一三九七、白一三九八、黒一三九九、白一四〇〇、黒一四〇一、白一四〇二、黒一四〇三、白一四〇四、黒一四〇五、白一四〇六、黒一四〇七、白一四〇八、黒一四〇九、白一四一〇、黒一四一一、白一四一二、黒一四一三、白一四一四、黒一四一五、白一四一六、黒一四一七、白一四一八、黒一四一九、白一四二〇、黒一四二一、白一四二二、黒一四二三、白一四二四、黒一四二五、白一四二六、黒一四二七、白一四二八、黒一四二九、白一四三〇、黒一四三一、白一四三二、黒一四三三、白一四三四、黒一四三五、白一四三六、黒一四三七、白一四三八、黒一四三九、白一四四〇、黒一四四一、白一四四二、黒一四四三、白一四四四、黒一四四五、白一四四六、黒一四四七、白一四四八、黒一四四九、白一四五〇、黒一四五一、白一四五二、黒一四五三、白一四五四、黒一四五五、白一四五六、黒一四五七、白一四五八、黒一四五九、白一四六〇、黒一四六一、白一四六二、黒一四六三、白一四六四、黒一四六五、白一四六六、黒一四六七、白一四六八、黒一四六九、白一四七〇、黒一四七一、白一四七二、黒一四七三、白一四七四、黒一四七五、白一四七六、黒一四七七、白一四七八、黒一四七九、白一四八〇、黒一四八一、白一四八二、黒一四八三、白一四八四、黒一四八五、白一四八六、黒一四八七、白一四八八、黒一四八九、白一四九〇、黒一四九一、白一四九二、黒一四九三、白一四九四、黒一四九五、白一四九六、黒一四九七、白一四九八、黒一四九九、白一五〇〇、黒一五〇一、白一五〇二、黒一五〇三、白一五〇四、黒一五〇五、白一五〇六、黒一五〇七、白一五〇八、黒一五〇九、白一五一〇、黒一五一一、白一五一二、黒一五一三、白一五一四、黒一五一五、白一五一六、黒一五一七、白一五一八、黒一五一九、白一五二〇、黒一五二一、白一五二二、黒一五二三、白一五二四、黒一五二五、白一五二六、黒一五二七、白一五二八、黒一五二九、白一五三〇、黒一五三一、白一五三二、黒一五三三、白一五三四、黒一五三五、白一五三六、黒一五三七、白一五三八、黒一五三九、白一五四〇、黒一五四一、白一五四二、黒一五四三、白一五四四、黒一五四五、白一五四六、黒一五四七、白一五四八、黒一五四九、白一五五〇、黒一五五一、白一五五二、黒一五五三、白一五五四、黒一五五五、白一五五六、黒一五五七、白一五五八、黒一五五九、白一五六〇、黒一五六一、白一五六二、黒一五六三、白一五六四、黒一五六五、白一五六六、黒一五六七、白一五六八、黒一五六九、白一五七〇、黒一五七一、白一五七二、黒一五七三、白一五七四、黒一五七五、白一五七六、黒一五七七、白一五七八、黒一五七九、白一五八〇、黒一五八一、白一五八二、黒一五八三、白一五八四、黒一五八五、白一五八六、黒一五八七、白一五八八、黒一五八九、白一五九〇、黒一五九一、白一五九二、黒一五九三、白一五九四、黒一五九五、白一五九六、黒一五九七、白一五九八、黒一五九九、白一六〇〇、黒一六〇一、白一六〇二、黒一六〇三、白一六〇四、黒一六〇五、白一六〇六、黒一六〇七、白一六〇八、黒一六〇九、白一六一〇、黒一六一一、白一六一二、黒一六一三、白一六一四、黒一六一五、白一六一六、黒一六一七、白一六一八、黒一六一九、白一六二〇、黒一六二一、白一六二二、黒一六二三、白一六二四、黒一六二五、白一六二六、黒一六二七、白一六二八、黒一六二九、白一六三〇、黒一六三一、白一六三二、黒一六三三、白一六三四、黒一六三五、白一六三六、黒一六三七、白一六三八、黒一六三九、白一六四〇、黒一六四一、白一六四二、黒一六四三、白一六四四、黒一六四五、白一六四六、黒一六四七、白一六四八、黒一六四九、白一六五〇、黒一六五一、白一六五二、黒一六五三、白一六五四、黒一六五五、白一六五六、黒一六五七、白一六五八、黒一六五九、白一六六〇、黒一六六一、白一六六二、黒一六六三、白一六六四、黒一六六五、白一六六六、黒一六六七、白一六六八、黒一六六九、白一六七〇、黒一六七一、白一六七二、黒一六七三、白一六七四、黒一六七五、白一六七六、黒一六七七、白一六七八、黒一六七九、白一六八〇、黒一六八一、白一六八二、黒一六八三、白一六八四、黒一六八五、白一六八六、黒一六八七、白一六八八、黒一六八九、白一六九〇、黒一六九一、白一六九二、黒一六九三、白一六九四、黒一六九五、白一六九六、黒一六九七、白一六九八、黒一六九九、白一七〇〇、黒一七〇一、白一七〇二、黒一七〇三、白一七〇四、黒一七〇五、白一七〇六、黒一七〇七、白一七〇八、黒一七〇九、白一七一〇、黒一七一一、白一七一二、黒一七一三、白一七一四、黒一七一五、白一七一六、黒一七一七、白一七一八、黒一七一九、白一七二〇、黒一七二一、白一七二二、黒一七二三、白一七二四、黒一七二五、白一七二六、黒一七二七、白一七二八、黒一七二九、白一七三〇、黒一七三一、白一七三二、黒一七三三、白一七三四、黒一七三五、白一七三六、黒一七三七、白一七三八、黒一七三九、白一七四〇、黒一七四一、白一七四二、黒一七四三、白一七四四、黒一七四五、白一七四六、黒一七四七、白一七四八、黒一七四九、白一七五〇、黒一七五一、白一七五二、黒一七五三、白一七五四、黒一七五五、白一七五六、黒一七五七、白一七五八、黒一七五九、白一七六〇、黒一七六一、白一七六二、黒一七六三、白一七六四、黒一七六五、白一七六六、黒一七六七、白一七六八、黒一七六九、白一七七〇、黒一七七一、白一七七二、黒一七七三、白一七七四、黒一七七五、白一七七六、黒一七七七、白一七七八、黒一七七九、白一七八〇、黒一七八一、白一七八二、黒一七八三、白一七八四、黒一七八五、白一七八六、黒一七八七、白一七八八、黒一七八九、白一七九〇、黒一七九一、白一七九二、黒一七九三、白一七九四、黒一七九五、白一七九六、黒一七九七、白一七九八、黒一七九九、白一八〇〇、黒一八〇一、白一八〇二、黒一八〇三、白一八〇四、黒一八〇五、白一八〇六、黒一八〇七、白一八〇八、黒一八〇九、白一八一〇、黒一八一一、白一八一二、黒一八一三、白一八一四、黒一八一五、白一八一六、黒一八一七、白一八一八、黒一八一九、白一八二〇、黒一八二一、白一八二二、黒一八二三、白一八二四、黒一八二五、白一八二六、黒一八二七、白一八二八、黒一八二九、白一八三〇、黒一八三一、白一八三二、黒一八三三、白一八三四、黒一八三五、白一八三六、黒一八三七、白一八三八、黒一八三九、白一八四〇、黒一八四一、白一八四二、黒一八四三、白一八四四、黒一八四五、白一八四六、黒一八四七、白一八四八、黒一八四九、白一八五〇、黒一八五一、白一八五二、黒一八五三、白一八五四、黒一八五五、白一八五六、黒一八五七、白一八五八、黒一八五九、白一八六〇、黒一八六一、白一八六二、黒一八六三、白一八六四、黒一八六五、白一八六六、黒一八六七、白一八六八、黒一八六九、白一八七〇、黒一八七一、白一八七二、黒一八七三、白一八七四、黒一八七五、白一八七六、黒一八七七、白一八七八、黒一八七九、白一八八〇、黒一八八一、白一八八二、黒一八八三、白一八八四、黒一八八五、白一八八六、黒一八八七、白一八八八、黒一八八九、白一八九〇、黒一八九一、白一八九二、黒一八九三、白一八九四、黒一八九五、白一八九六、黒一八九七、白一八九八、黒一八九九、白一九〇〇、黒一九〇一、白一九〇二、黒一九〇三、白一九〇四、黒一九〇五、白一九〇六、黒一九〇七、白一九〇八、黒一九〇九、白一九一〇、黒一九一一、白一九一二、黒一九一三、白一九一四、黒一九一五、白一九一六、黒一九一七、白一九一八、黒一九一九、白一九二〇、黒一九二一、白一九二二、黒一九二三、白一九二四、黒一九二五、白一九二六、黒一九二七、白一九二八、黒一九二九、白一九三〇、黒一九三一、白一九三二、黒一九三三、白一九三四、黒一九三五、白一九三六、黒一九三七、白一九三八、黒一九三九、白一九四〇、黒一九四一、白一九四二、黒一九四三、白一九四四、黒一九四五、白一九四六、黒一九四七、白一九四八、黒一九四九、白一九五〇、黒一九五一、白一九五二、黒一九五三、白一九五四、黒一九五五、白一九五六、黒一九五七、白一九五八、黒一九五九、白一九六〇、黒一九六一、白一九六二、黒一九六三、白一九六四、黒一九六五、白一九六六、黒一九六七、白一九六八、黒一九六九、白一九七〇、黒一九七一、白一九七二、黒一九七三、白一九七四、黒一九七五、白一九七六、黒一九七七、白一九七八、黒一九七九、白一九八〇、黒一九八一、白一九八二、黒一九八三、白一九八四、黒一九八五、白一九八六、黒一九八七、白一九八八、黒一九八九、白一九九〇、黒一九九一、白一九九二、黒一九九三、白一九九四、黒一九九五、白一九九六、黒一九九七、白一九九八、黒一九九九、白二〇〇〇、黒二〇〇一、白二〇〇二、黒二〇〇三、白二〇〇四、黒二〇〇五、白二〇〇六、黒二〇〇七、白二〇〇八、黒二〇〇九、白二〇一〇、黒二〇一一、白二〇一二、黒二〇一三、白二〇一四、黒二〇一五、白二〇一六、黒二〇一七、白二〇一八、黒二〇一九、白二〇二〇、黒二〇二一、白二〇二二、黒二〇二三、白二〇二四、黒二〇二五、白二〇二六、黒二〇二七、白二〇二八、黒二〇二九、白二〇三〇、黒二〇三一、白二〇三二、黒二〇三三、白二〇三四、黒二〇三五、白二〇三六、黒二〇三七、白二〇三八、黒二〇三九、白二〇四〇、黒二〇四一、白二〇四二、黒二〇四三、白二〇四四、黒二〇四五、白二〇四六、黒二〇四七、白二〇四八、黒二〇四九、白二〇五〇、黒二〇五一、白二〇五二、黒二〇五三、白二〇五四、黒二〇五五、白二〇五六、黒二〇五七、白二〇五八、黒二〇五九、白二〇六〇、黒二〇六一、白二〇六二、黒二〇六三、白二〇六四、黒二〇六五、白二〇六六、黒二〇六七、白二〇六八、黒二〇六九、白二〇七〇、黒二〇七一、白二〇七二、黒二〇七三、白二〇七四、黒二〇七五、白二〇七六、黒二〇七七、白二〇七八、黒二〇七九、白二〇八〇、黒二〇八一、白二〇八二、黒二〇八三、白二〇八四、黒二〇八五、白二〇八六、黒二〇八七、白二〇八八、黒二〇八九、白二〇九〇、黒二〇九一、白二〇九二、黒二〇九三、白二〇九四、黒二〇九五、白二〇九六、黒二〇九七、白二〇九八、黒二〇九九、白二一〇〇、黒二一〇一、白二一〇二、黒二一〇三、白二一〇四、黒二一〇五、白二一〇六、黒二一〇七、白二一〇八、黒二一〇九、白二一一〇、黒二一一一、白二一一二、黒二一一三、白二一一四、黒二一一五、白二一一六、黒二一一七、白二一一八、黒二一一九、白二一二〇、黒二一二一、白二一二二、黒二一二三、白二一二四、黒二一二五、白二一二六、黒二一二七、白二一二八、黒二一二九、白二一三〇、黒二一三一、白二一三二、黒二一三三、白二一三四、黒二一三五、白二一三六、黒二一三七、白二一三八、黒二一三九、白二一四〇、黒二一四一、白二一四二、黒二一四三、白二一四四、黒二一四五、白二一四六、黒二一四七、白二一四八、黒二一四九、白二一五〇、黒二一五一、白二一五二、黒二一五三、白二一五四、黒二一五五、白二一五六、黒二一五七、白二一五八、黒二一五九、白二一六〇、黒二一六一、白二一六二、黒二一六三、白二一六四、黒二一六五、白二一六六、黒二一六七、白二一六八、黒二一六九、白二一七〇、黒二一七一、白二一七二、黒二一七三、白二一七四、黒二一七五、白二一七六、黒二一七七、白二一七八、黒二一七九、

南支の視察を終へ 記者團一行歸臺

"李宗仁氏とも會見して來た"

高雄で元氣よく語る

【高雄電話】南支視察を終へた記者團一行は一日午前八時高雄驛着の列車で歸臺の途に就いたが、同驛には現在の支那を救ふには抗日以外に道はないと飽迄抗日態度を表明し、抗日は手段に非ずして現實であるとはっきり應答してゐる陳儀氏が親しく見送りに來てゐたので、一行は同氏と固く握手して別れを告げ、同氏の好意に感謝しつゝ列車に乗込んだ、尚ほ一行は同驛に於て出迎へた高雄州知事、同州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄新聞社長等と一々名刺を交換して挨拶を交はした、一行は同驛より自動車にて高雄州廳に赴き、同州知事室に於て同知事、州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄新聞社長等と懇談會を開き、午前十時半同州廳を辭して高雄驛に赴き、同驛より特別急行列車にて臺中に向ひ、午後一時臺中驛に着、同驛にて臺中州知事、同州警察部長、臺中市尹、臺中商工會議所會頭、臺中新聞社長等と懇談會を開き、午後二時半同驛を發車、三時半彰化驛に着、同驛にて彰化郡守、同郡警察課長、彰化商工會議所會頭、彰化新聞社長等と懇談會を開き、午後四時半同驛を發車、五時半嘉義驛に着、同驛にて嘉義郡守、同郡警察課長、嘉義商工會議所會頭、嘉義新聞社長等と懇談會を開き、午後六時半同驛を發車、七時半新營驛に着、同驛にて新營郡守、同郡警察課長、新營商工會議所會頭、新營新聞社長等と懇談會を開き、午後八時半同驛を發車、九時半臺南驛に着、同驛にて臺南州知事、同州警察部長、臺南市尹、臺南商工會議所會頭、臺南新聞社長等と懇談會を開き、午後十時半同驛を發車、十一時半新市驛に着、同驛にて新市庄長、同庄警察官駐在所巡査等と懇談會を開き、午後十一時半同驛を發車、十二時半臺南驛に着、同驛にて臺南州知事、同州警察部長、臺南市尹、臺南商工會議所會頭、臺南新聞社長等と懇談會を開き、午後一時半同驛を發車、二時半臺中驛に着、同驛にて臺中州知事、同州警察部長、臺中市尹、臺中商工會議所會頭、臺中新聞社長等と懇談會を開き、午後三時半同驛を發車、四時半彰化驛に着、同驛にて彰化郡守、同郡警察課長、彰化商工會議所會頭、彰化新聞社長等と懇談會を開き、午後五時半同驛を發車、六時半二林驛に着、同驛にて二林庄長、同庄警察官駐在所巡査等と懇談會を開き、午後六時半同驛を發車、七時半臺中驛に着、同驛にて臺中州知事、同州警察部長、臺中市尹、臺中商工會議所會頭、臺中新聞社長等と懇談會を開き、午後八時半同驛を發車、九時半臺南驛に着、同驛にて臺南州知事、同州警察部長、臺南市尹、臺南商工會議所會頭、臺南新聞社長等と懇談會を開き、午後十時半同驛を發車、十一時半新市驛に着、同驛にて新市庄長、同庄警察官駐在所巡査等と懇談會を開き、午後十一時半同驛を發車、十二時半臺南驛に着、同驛にて臺南州知事、同州警察部長、臺南市尹、臺南商工會議所會頭、臺南新聞社長等と懇談會を開き、午後十二時半同驛を發車、一時半高雄驛に着、同驛にて高雄州知事、同州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄新聞社長等と懇談會を開き、午後二時半同驛を發車、三時半高雄驛に着、同驛にて高雄州知事、同州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄新聞社長等と懇談會を開き、午後四時半同驛を發車、五時半高雄驛に着、同驛にて高雄州知事、同州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄新聞社長等と懇談會を開き、午後六時半同驛を發車、七時半高雄驛に着、同驛にて高雄州知事、同州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄新聞社長等と懇談會を開き、午後八時半同驛を發車、九時半高雄驛に着、同驛にて高雄州知事、同州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄新聞社長等と懇談會を開き、午後十時半同驛を發車、十一時半高雄驛に着、同驛にて高雄州知事、同州警察部長、高雄市尹、高雄商工會議所會頭、高雄

文展の日本畫を見る

主として野生文學研究室出品のものに就いて

楊雲萍

（一）

眞先に出品目録を手にしたのは、目録を開いて、先ず本文の前に、「出品者住所姓名」の一覽表があるかないかを見ることである。これがあれば、出品者の住所姓名を知ることが出來るし、また、出品者の數を知ることが出來るからである。

二代以後の著名二三名の部に就いてみると、出品者は如何なる種類の人であるかを知ることが出來るであらう。橋本關雪氏は、「唐人故事」の他多數の出品があるが、「唐人故事」は、「唐書」「晉書」「世說新語」「搜神記」「酉陽雜俎」「開元天寶遺事」「明皇雜錄」「東觀奏記」「續玄怪錄」「傳奇」「劇談錄」「北夢瑣言」「玉泉子」「北里志」「教坊記」「本事詩」「雲溪友議」「幽閑鼓吹」「三水小牘」「麗情集」「摭言」「才調集」「文苑英華」「太平廣記」「唐詩紀事」「唐詩鼓吹」「唐詩品彙」「唐詩別裁」「唐詩選」「唐詩三百首」「唐詩合解」「唐詩解」「唐詩歸」「唐詩訓」「唐詩摘鈔」「唐詩選脈會通評林」「唐詩選脈會通評林補遺」「唐詩選脈會通評林續補遺」「唐詩選脈會通評林續補遺」「唐詩選脈會通評林續

陸軍貨車爆破事件
我當局極度に重視
背後にひそむ有力な黒幕を
徹底的に糺明せん

【南京二十一日發同盟】支那駐屯軍の鐵道爆破事件に關し、陸軍、外務兩當局は最近に於ける南京政府の態度に鑑み事態を樂觀に導くため、南京政府をして北支現地當局の意向に從はしめるべく、南京政府の要人に對し嚴重なる警告を與へたるものゝ如く、南京政府は右の警告に基き二十九日

【北平

北平空氣再緊張
英國擬有重大權益
日英兩國必更緊張

華盛頓三十日電。北平方面事態再緊張。惹起華盛頓官民注目。時值南北戰爭記念日。一般休業。當局公式意見。不得而知。然由最近政府態度推之。想米國此際不積極的干涉外交。即米國人生命財產。如不危險。當繼續靜觀。寄伺察其款。託庄役場。寄附國防云。

三選舉廢止中央聯盟
確立國民政治道義
置顧問制第二段活動

東京三十一日電。選舉肅正中央聯盟。因選舉廢止。當面對策。欲達成選舉肅正理想。新聞來方協議擴大強化之事。頃二十日將從來常任理事二名。增加三名。理事中加以衆議院議員。即任常任理事。二十日將從來常任理事二名。增加三名。理事中加以衆議院議員。即任常任理事。二十日將從來常任理事二名。增加三名。理事中加以衆議院議員。即任常任理事。

政友會爲革新黨情
新幹部組織大改革
選顧問及調查會役員

東京三十一日電。政友會爲革新黨情。新幹部組織斷行。大改革選任黨活動中心之政務調查役員。及總裁新諮問機關相談役（或稱顧問名稱）政務調查會會長。內定起用砂田重政氏。近將由總裁指名。相談役總員二名。大體二十名。以前閣僚等爲中心。現閣僚等爲中心。衆議院議員選五十四五名。貴族院議員五十四五名。功勞者選五、六名。其人物如左。岡崎邦輔。川村竹治。方澤謙吉。小久保喜七。若槻禮次郎。永井柳太郎。加藤高壽。床次竹二郎。久米四五郎。橫田千之助。山本悌二郎。前川米藏。三土忠造。島田俊雄。大口喜六。其他數名。

集會禁止令
大部解除

東京三十一日電。警視廳令部。關於事態平靜化。去三月二十日。集會禁止令大部分已解除。更照今回治安警察法第一條。須臨此之集會。六月一日以後保險。警視總監。及警視司令官。各警察署。而今後猶禁止者。一、四月事件。諸讀讀者之集會。二、政治犯罪事件。諸讀讀者之集會。

滿洲國佐々木軍政顧問
去廿七晚北平內城
被兩英兵襲擊卽死

滿洲國軍政部顧問佐々木（索犯人）乃明眞相。喜衆氏。年二十四。去二十七日午前一時。偕同僚二名。在北平內城哈達門路上。被英兵二名所殺。昏倒在地。腦出血卽死。我大使館當局。視爲重大事件。禁止報道。極力搜查。

英兵二名
行兇毆打
死因腦出血

北平駐剳帝國大使館。

要求英大使館
逮捕兇手

駐剳大使館一等書記打。腦內出血者。

孔雀能解巨毒

一、巨蟒。在西河沿某店。發現有巨蟒。身長一丈餘。重百餘斤。該店主人。即用鐵鎚擊斃。剖腹取出一小蟒。約二尺餘。亦已死。該店主人。以爲此蟒。食其大蟒。中毒而死。乃將小蟒。煮食。不料亦中毒。幸經醫生。用孔雀膽救治。始得脫險。

人乳可以止血

血液中含有一種凝固素。如受傷出血。用人乳塗之。卽能凝固。

逮捕兇手

尾成功。齊謀衆驚湖根據地。乃自大阪智謀返本國之最初部隊也。

關司法搜查
初次會合

葛北地方法院檢察局。及葛北州刑事課。鑑庄第一線活動之司法搜查。須要緊密連絡。及保持訓練。去三十日午後一時。在葛北地方法院會議室。初次會合。檢察局一邊。有古山官長。中村上席檢察官及各檢察局。州刑事課有山下課長。南署主任外三名。七尾郡警察課主任等。協議搜查指揮。千錢。搜查實際其他。午五時散會。今後每月擬一會合云。

農村保健小作法
負債整理土地問題
民政黨盡最善努力

東京三十一日電。民政黨方策。此外協議事項。一、免囚保護委員設置事。指示事項十二。注意事項十二。希望事項五。

專賣局祝賀
支局長披露
招待各界

專賣局葛南支局之十年度實行躍進祝賀會。兼岩崎新支局長披露會。以去三十日下午三時。開於葛南公會堂。並會者歐澤法院長。岡出專賣所長。林田內務部長。府州市議員。採鹽界。煙酒實捌人。及專賣事業關係者等。約二百餘名。濟々一堂。先由岩槻支局長。報告十年度支局專賣品消費成績。次鈸新任之禮。既竟開宴。有藝妓舞蹈。局音樂團之奏樂。席間林田內務部長代表來。資述謝。至四時半由岡出所長唱乾杯解散云

東海運轉手
受表彰金
寄附國防

鐵濱東海自動車運輸株式會社運轉手陳茂坤。蔡火煥。教育調查。中山文男。楊治。水工事竣。衛生調查。渡嘉敷唯勳。吉岡信等。其評價方法。慎重研究。決定三次評價。以期公平利益行情。之惡迷輩。三分半利益行情。正確。底慎鍛錬。

宜蘭員街制
調查委員會
決定組織

宜蘭街協議會員月例會。去三十日午後七時。三十分開之宜蘭街圖書館樓上。出席者。有兩助役。並協議會員等。約二十餘名。第一部委員。財政調查。推原國知。石鄂遠。范阿成。產業調查。黃再時。重藤幹一。金森一。吳阿耀。第二部委員。交通調查。少島仁三郎。邱有才。林鈍。教育調查。中山文男。楊治。水工事竣。衛生調查。渡嘉敷唯勳。吉岡信等。其評價方法。慎重研究。決定三次評價。以期公平利益行情。之惡迷輩。三分半利益行情。正確。底慎鍛錬。

督府出資臺拓官地
評價方法決定三次
各州廳豫先調查二次

臺灣拓殖株式會社法案。已通過議會。按今秋開辦。督府之現物出資。有官租地。官有未墾地。官有未墾地。山林地。其評價方法。慎重研究。決定三次評價。以期公平利益行情。之惡迷輩。三分半利益行情。正確。底慎鍛錬。

一、調查價格。臺拓出資之官租地。使所在地之州或廳調查。該方法。以貸付中之官租地收穫。照附近民有地之例。換算爲小地主純益得。再扣除該地一圓米實價格。以爲土地評價。除公課後。視爲土地二實質價格。依左記標準。評定之。

和製滑稽王
到處行竊
經被南署逮捕

東京市瀧川町人鈴江四郎年二十三。綽號和製滑稽王。

自動車轢人
鎖骨折斷

嘉義商工專修學校校長山口茂治。年十四。去三十日午後一時半。自學校歸途至市圖書館前。適市內榮町五丁目源興自動車商會南六一八號之貨物車。由運轉手曾宮竹運轉而至。因不注意。被其轢倒。肩部鎖骨折斷。治療要三週間云。

專賣支局長披露
招待各界

專賣局葛南支局之十年度實行躍進祝賀會。兼岩崎新支局長披露會。以去三十日下午三時。開於葛南公會堂。並會者歐澤法院長。岡出專賣所長。林田內務部長。府州市議員。採鹽界。煙酒實捌人。及專賣事業關係者等。約二百餘名。濟々一堂。先由岩槻支局長。報告十年度支局專賣品消費成績。次鈸新任之禮。既竟開宴。有藝妓舞蹈。局音樂團之奏樂。席間林田內務部長代表來。資述謝。至四時半由岡出所長唱乾杯解散云

有偶之雌能敵二雄
一雄在家復惡作劇
不貞婦無恥傷風敗俗甚矣

臺南實町一丁目。去二十九日下午四時許。風傳有妬奸服毒事件。一時里巷喧騰。服毒者係花園町三丁目洪溪泉。年三十二。業夫役。直明昇入臺南慈惠院施治。並無服毒形跡。該轄明治町警官派出所。聞洪與實町一丁目許宏。年六十者之妻。許鄭氏不檢。有曖昧行爲。乃前往調查。署江頭警部補。岩本張兩刑事。亦赴現場查問。並將洪及婦。與另一奸夫新豐郡永康庄人楊賜。年五十八。悉爲拘署訊究。於是乃知係洪妬奸所翻之把戲。緣許宏妻。許氏不檢。本一洗衣婦。薄有積蓄。素性淫蕩。乃夫以老年故。未能飽其慾。於三年前適於洪。洪同有婦而時以小恩惠。結許婦之歡。且時往婦通。許雖知因與婦故女之不貞。素也。許婦於洪外。再與楊暗通歡。許宏氏不知。也。

詐欺倒產
懲役二年
猶不服上控

臺南市花園町二丁目。利源行土林金原之倒產事件。其負債部分。現方由其父與諸債主。接洽整還。決定移轉新地區。伐採太平山檜木。建築事務所及工寮等。要二萬四千餘石。結局指定店配付額。按三十二萬餘石。比客年減一成五分。乃至二成。蓋因米價昂騰。全島農村起色。而處於農家自用材料。需用多。供給少。本年材木界。或好景氣云。

夫在獄中
妻與人私
爲無賴所襲

虎尾郡土庫庄崙內三二番地黃變卿。昭和九年中。因犯竊盜服役中。去二十八日午後八時頃。其妻黃林氏雞鳳。素與同居中工人邱北德郎四湖庄三孫崙吳傑。有借項關係。來往甚密。是夜逢與之私。初談地吳鳥超。吳崙。張榮等。嘗求之女。嘗爲女拒絕衝之。及是夜探知前記事情。互相結群。大舉毆之。其勢甚兇。吳傑。見事勢危。立即逃走。至黃其氏宅後林投內。該兇手皆大呼捉賊。各執木梶。圍打一場。幸吳其氏追至。急救入家內。乃得無事。然後齊往馬公厝派出所。陳明事件始末。翌日女心不慰。立對虎尾郡當局。提出家宅侵入告訴及毆傑。亦要提出暴行告訴云。

殿人討債
致爲告訴

員山庄家畜市場。歐爾谷川俊一。年二十五。去二十九日。被大和屋店員洪木慶。年二十。向官關檢察局。提出傷害之告訴。聞其原因。去二十六日午後。木慶向谷川。催促雜貨品代金。谷川初根本慶日前不行所託。且是日催促金項。即時大怒。毆打。須要治療十日間之傷云。

惡少狂暴
屢次毆人
遂至拘留究辦

臺南市錦町三丁目六番地王振成。年二十。家得溫飽。而賦性無賴。前者爲貪觀人家婦女姿色。足下展帶觸斷。迫旁有警照相。又清水町二丁目林子章。十者。見而生笑。羞惱成怒。執而毆之。猶不甘心。五月二日下午四時許。於臺南公園與林遇。再被毆打。後於大正町臺南醫院前。被打胸部。至於喀血。林遂就醫臺南病院。

一雄在家復惡作劇
不貞婦無恥傷風敗俗甚矣

臺南實町一丁目。去二十九日下午四時許。風傳有妬奸服毒事件。一時里巷喧騰。服毒者係花園町三丁目洪溪泉。年三十二。業夫役。直明昇入臺南慈惠院施治。並無服毒形跡。該轄明治町警官派出所。聞洪與實町一丁目許宏。年六十者之妻。許鄭氏不檢。有曖昧行爲。乃前往調查。署江頭警部補。岩本張兩刑事。亦赴現場查問。並將洪及婦。與另一奸夫新豐郡永康庄人楊賜。年五十八。悉爲拘署訊究。於是乃知係洪妬奸所翻之把戲。緣許宏妻。許氏不檢。本一洗衣婦。薄有積蓄。素性淫蕩。乃夫以老年故。未能飽其慾。於三年前適於洪。洪同有婦而時以小恩惠。結許婦之歡。且時往婦通。許雖知因與婦故女之不貞。素也。許婦於洪外。再與楊暗通歡。許宏氏不知。也。

訂正一則

羅東街永安醫院來書。謂本報去二十九日記事中。有「醫師自開業。亦爲人所醫」之題。是德安醫院「之語。請爲訂正。茲卽依例。爲之剖白。

肥料商於農村
競爭猛烈

是々非々

展覽
莊詞宗林玉選

新湯寫志（九上三）
雲使重來

（三）

朗郎問曰梅身體若何。白梅答曰。我有微恙。然無大患。郎又曰。梅何故而病。梅曰。昨夜在此。忽見白衣人。自空而下。其長丈餘。其面如月。其光如晝。其聲如鐘。謂我曰。我天使也。奉天帝命。來迎汝。我聞之。不覺悲泣。天使曰。汝勿悲。我將復來。汝可以此事。告汝家人。言訖。天使乘雲而去。我卽病。

說

高雄婦人科醫院
高雄婦人科醫院

臨時總會招集
臨時總會招集

高雄婦人科醫院
高雄婦人科醫院

告
告